

# いざシンガポールへ! ボナー海外研修旅行!

今年もボナーのカラオケ・飲食部門の社員を中心に、海外研修旅行が行われました。今年はJTB九州の企画により、七年ぶりにシンガポールへ二泊四日の日程で、一班と二班に分かれて合計六十八名が参加しました。ソフトバンクのCMで話題になつた、できたばかりの新ホテル「マリーナ・ベイ・サンズ」の屋上プールで泳いだり、カジノの雰囲気を味わつたり、おなじみの「マーライオン」の前で記念撮影をしたりと、様々な観光地を巡つて勉強しながら、社員同士の結束を深める良い機会となりました。空港の解散式では、来年も楽しい旅行ができるように、みんなで団結して売上UPすることを誓いました。



海外研修に参加させて頂き、誠にありがとうございました。自分自身のテーマは、居酒屋部門の中で旅行中はしっかりとリーダーシップを取る事でした。しかし、結果は大いに反省すべき内容だったと感じます。二村専務、森常務、川野部長の視野の広さ、行動力、統率力と“五つの「り」”の実践、自分に取つて勉強させられることばかりでした。空港に向かうバスの中では、内山社長より“言葉配りは商品である”という内容の話を頂きました。研修旅行は見聞を広げ、色々な事を勉強する場ですが、根底に楽しさ、興味がなければ成長にも繋がりません。自分も含め、各個人においては細かい部分で反省もあると思いますが、全体としては旅行期間中を通して笑顔が多く見られた、有意義な研修になつたと感じます。

シンガポールはとても魅力的な国でした。様々な国の方が生活をしており、街によつては生活習慣も異なり、多面性を持つた国です。観光地も含め街全体も整備されており、世界中から観光客が訪れるのもうなづけます。深夜でも各地の屋台は賑わつており、非常に雰囲気のある物でした。築年目のマリーナベイサンズは素晴らしいホテルでした。ホテル自体の大きさもそうですが、働いている従業員の身だしなみや笑顔を含めた表情のひとつひとつも意識の違いが見受けられました。スタッフ一人一人の見られ意識の大切さ“100-1=0”的意味の大切さ、改めて確認する事が出来ました。

一方、レストランや観光地などのトイレに関しては、あまり良くない環境だったと感じます。トイレ空間がどれ程に大事な物か、印象に残るかを再度考える機会となりました。店の鏡という位置づけを忘れず、これからも店長の大きな仕事の一つとして継続してやつています。ありがとうございます。

今回の研修旅行で様々な経験をし、色々と勉強する事ができたのも、上司の方々をはじめ、本社勤務の皆様、留守中に店舗を守つてもらつた料理長、アルバイトスタッフ、たくさんの人の協力、助けがあつてこそです。その事を決して忘れず、この経験を必ず店の売上、利益に繋げます。最後に旅行期間中に色々なお世話をしてくれたJTB市瀬さん、中村さん、現地ガイドのビンセントさんに感謝致します。ありがとうございます。

(かんてきや堺町店／店長・堀川大二郎)

とうござります。自分自身のテーマは、居酒屋部門の中で旅行中はしっかりとリーダーシップを取る事でした。しかし、結果は大いに反省すべき内容だったと感じます。二村専務、森常務、川野部長の視野の広さ、行動力、統率力と“五つの「り」”の実践、自分に取つて勉強させられることばかりでした。空港に向かうバスの中では、内山社長より“言葉配りは商品である”という内容の話を頂きました。研修旅行は見聞を広げ、色々な事を勉強する場ですが、根底に楽しさ、興味がなければ成長にも繋がりません。自分も含め、各個人においては細かい部分で反省もあると思いますが、全体としては旅行期間中を通して笑顔が多く見られた、有意義な研修になつたと感じます。

さわやか

# 和布刈式番館 オープン!



平成二十四年二月一日に、さわやか俱楽部の新しい住宅型有料老人ホーム『さわやか和布刈式番館』が開所しました。

「門を司る」関所の意味を持つ、北九州市門司区の閨門海峡を一望出来る恵まれた環境に立地しています。豊かな自然と充実した公共施設や生活環境、そしてきめ細かいサービスによって、安心と健康に満ちた楽しい毎日を提供します。同じ門司区内にある住宅型有料老人ホーム『さわやか新門司館』のヘルパー・サービスや、隣接する介護付有料老人ホーム『さわやか和布刈館』のデイサービスなどを利用頂くこともでき、介護度の重度によっては『さわやか和布刈館』への転居も可能です。日々の生活では、さわやか俱楽部の他施設のように、編み物教室や園芸教室、また外出レクリエーションなど楽しく暮らして頂けるよう色々な取り組みも積極的に行っています。見学も隨時行っていますので、ぜひ一度ご来館ください。



## めかりにばんかん さわやか和布刈式番館

〒801-0883 福岡県北九州市門司区大久保1-9-20

全個室／定員61名

体験入居・見学希望など、気軽に問い合わせ下さい! ☎ 093-322-2300



「さわやか和布刈館」に入居されている有吉様は、幼少の頃から絵を書くのが大好きで、十二歳から日本画を学び始めました。終戦後、十七歳より油絵を始められました。有吉様は、平成二十二年九月に和布刈館に入居されました。初めてお逢いしたのが有吉様のご自宅で、そこには沢山の絵画がありました。

和布刈館には三点の絵画を寄贈して頂き、現在では「さわやか別府の里」、「さわやか大畠参番館」にも有吉様の絵画が飾られています。そして、今回は「さわやか和布刈式番館」にも、四点の絵画を寄贈して頂きました。和布刈式番館が完成した時には、ぜひ有吉様の絵画を飾りたいとお願いしており、喜んで了承して頂きました。ご自宅には、まだ沢山の絵画があり、飾ってくれる施設があれば知らせてほしいとのことです。(さわやか和布刈式番館／山本裕紀)

## 絵画のプレゼント!



【氏名】ありよし あきこ  
**有吉 明子 様**  
【生年月日】昭和3年3月11日

有吉明子様より

今回さわやか和布刈式番館にプレゼントさせて頂いた四点の絵画は、私が六十代の頃に作った物です。どの作品も一度小さいキャンバスに作成し、百号サイズ・五十号サイズに描き直しますので、制作に約半年の期間がかかります。絵を描く時に一番大切にしていることは、モデルさんの気持ちになつて描くことです。「もっと綺麗に書こう!」と、一生懸命な気持ちになれるからです。私の作品を見て、皆様が元気になつて頂ければと思います。ありがとうございます。

（施設長／山本裕紀）  
この度、さわやか和布刈式番館の施設長となりました。  
皆様に愛される施設を目指し、職員一同頑張ってまいります。  
宜しくお願いします。

（施設長／山本裕紀）



## 安達 裕太さん

(株)さわやか俱楽部  
あだち

さわやか日出館主任



介護職としては約十三年のキャリアがあり、さわやか俱楽部に入社前は日の出館を以前運営していました。「グッドライフクラブ」の職員として働いていました。昨年の十二月にさわやか俱楽部へ運営会社が変わった際、本社や北九州にある各施設を見学させて頂き、新潟では見ることのなかつた理念や実践方法に驚き、共感しました。そして内山社長、竹村専務からの温かい激励を受け、入社することを決めました。

現在はさわやか俱楽部が展開している新しい介護を学び、入居者様が安心して生活できる環境づくりを実践できることが嬉しさになっています。入居者様の笑顔を中心と考え基本理念を実践しながら、新しいことに積極的に挑戦できることに、やりがいと勇気を感じています。入居者様の笑顔の輪が広がっています。「やさしい笑顔になつて頂ける」この喜びは、介護者としての私自身の誇りです。

趣味は主に読書ですが、家ではいつも子供と楽しく過ごしています。一緒に「パズル」や「割り箸鉄砲」などのおもちゃを作ったり、「ぬいぐるみ」や「帽子」を作成したり、子供と一緒にいる時間を大切にしています。

今後は新しい介護知識・技術を学び、全国にあるさわやか俱楽部の文化・思考を取り入れ、自分が理想とする「あたたかい介護・ぬくもりのある施設」を構築していくたいと思います。これからも変化していく介護に対して、新しい知識を貪欲に学び、柔軟に対応していく自分であります。介護を始めとして、様々な分野の仕事を経験・体験し、自己成長へと繋げ、学んだものを入居者様の笑顔の為に使います。一人でも多くの入居者様の生活を支え、愛する家族を守り、仲間の力となつて、私は生きていきます。

## ハートフル・ストーリー 「親が子に遺せるもの」

本当に、命懸けで産んでよかつたとあらためて感じています。今は、私がムスメから寿命を延ばしてもらっています。

ムスメの卒園式まで。

ムスメの成人式まで。

ムスメの結婚式まで。

ムスメのこどもが産まれてくるまで。

ムスメの妊娠延ばしたいものです。

天から私たちのところにやつてくれた宝物だから、十数年後にきちんと社会にお返しできるように心を込めて育てなければ…。

私はがんになった後に、ムスメを授かりました。

がんになつてもならなぐても

死ぬ順番は私が先に決まっています。

逆になつたらいけない。

だとすると、心残りがない様に死ななければなりません。ムスメは私がいなくなつた後、

生きる上で必須科目となる家事は出来るだらうか…。

今、ムスメに手伝わせている家事は、

洗濯干し、洗濯たたみ、風呂洗い、靴並べ、掃除、

保育園の準備、たんすの整理、自分の服の管理等…。

彼女の手伝いの中に、配膳と料理部門を増やすことが、

今後の課題です。

日々祈るのです。

旦那とムスメが、朝「行ってきます」と出かけた後、「ただいま」と、元気に帰つてくることを。

がん友や大切な人々が、毎日元気でいることを。それぞれの家族が、できる限り長く、幸せであることを。



## サンクスカードを広めよう!

ウチヤマグループ全体で取り組んでいる『サンクスカード』もすっかり定着してきました。仲間に対する感謝の言葉を積極的に交わすことで、職員同士のコミュニケーション向上に役立つ事例が数多く報告されています。

今月は、サンクスカードを最大限活用して職場の活性化に取り組んでいる事業所をご紹介します。



### 事例1 さわやか宗像館

#### 《サンクス・マイスターの取り組みについて》

宗像館の朝は、感謝の気持ちを伝え合うことから始まります。毎朝、職員の活力朝礼でサンクスカードを発表しています。これは実際に読み上げたサンクスカードです。

【田中妙子さんへ】先日、出勤前に施設の周りのゴミを拾っている田中さんを見ました。前日の夕方、同じ道を通り、ゴミが落ちていることは知っていましたが拾いませんでした。田中さんのようなステキな女性になれるように頑張ります。(花田さやか)

感謝を受け取った田中さんは、次の日、花田さんに、このようなサンクスカードを書いていました。

【花田さやかさんへ】外出レクレーションにお茶の準備をしてください、入居者様も、おいしく頂かれました。ありがとうございます。(田中妙子)

毎朝、このように「ありがとう」が「ありがとう」を生み、感謝を受け取った職員も感謝を届けてくれた職員も、今日一日を笑顔でスタートしています。この感謝の朝礼を続けるうちに、サンクスカードの提出枚数も、どんどん増えて、毎月平均して300枚程度が提出され、私も毎日、たくさんのサンクスカードが読める楽しみが増えました。

また、毎月、職員会議の最後に「素晴らしい賞」を発表しています。この賞は、サンクスカードを、その月に一番多く提出した職員に贈られる賞です。この賞を続けるうちに、宗像館が設立して以来の、とんでも

ない事が起こったのです。それは、介護職員の藤元浩樹君が、平成23年9月から平成24年1月までの5ヶ月連続で、この賞を受賞したのです。藤元君は、平均して毎日5枚のサンクスカードを書いています。彼は、仲間のよい所を見つける天才です。彼の瞳からは、よい所を見つける特殊な、サンクス光線が出ているのではないかと思えるくらいです。

彼の偉業に「どげんかせんといかん」と考えたのが『サンクス・マイスター』の称号です。マイスターとは、ドイツで発展した資格制度の中で『熟練した人』という意味で、英語で『マスター』イタリア語で『マエストロ』と呼ばれています。『サンクス・マイスター』は、藤元君にもっともふさわしい賞だと考えました。藤元君は、2月もいつものペースでサンクスカードを書き続け、素晴らしい賞を獲得しました。最近、彼のサンクスカードには、提出者の欄に、藤元ではなく「マイスター」と書かれています。彼だけの特権です。

今後も、さまざまなマイスターの誕生を考えています。例えば、リネン交換マイスター、清掃マイスター、コミュニケーション・マイスター、レクレーション・マイスター、入浴マイスター、などなど…考え出すと、ワクワク楽しくなります。皆様も一緒に取り組みませんか?各施設でさまざまなマイスターの代表を決めて、さわやか倶楽部の全国大会を開催し、日本一を決めるのも楽しいと考えています。(さわやか宗像館／高橋英二)



### 事例2 米町再生酒場

#### 《飲食部門・2月度サンクスカード第一位!》

1月の全体会議で「サンクスカードを積極的に活用しよう」と内山社長から話がありました。私自身は、人に「ありがとう」と素直に感謝を伝えるのが苦手な性格でした。サンクスカードについても、最初は「面倒くさい、書きたくない」という抵抗感がありましたが、社長に言われたからにはやってみようと決心し、スタッフにも話をして、とにかく毎日書いてみることから始めました。

サンクスカードをいざ書こうとすると、周りの人の良い所を見つけるという意識が出てきました。今まで何気なく見過ごしていたこと、厨房スタッフがホールスタッフのフォローをして注文を受けてくれたり、ホールスタッフがキッチンの洗い物を手伝ってくれたりといったちょっとしたことにも、ありがたいという気持ちが芽生えました。そして、1日の中で1つも良い所を見つけられないということは、仕事をしていないのと同じという気持ちになりました。それからは、提出するためではなく、仲間に對して「ありがとう」の気持ちを伝えるために進んでサンクスカードを書くようになりました。今では、お客様に対する感謝の気持ちもサンクスカードに書いて表すようにしています。

## HANKS CARD

米町再生酒場は、ボナーの居酒屋の中では規模が小さく、スタッフも少数なので、一人ひとりの動きや全員のチームワークが売上にも大きく関わってきます。私自身も、人からほめられたら嬉しくなって、仕事にも気合が入ります。サンクスカードをみんなで書くようになって、『ありがとう再生酒場』と言えるくらい店内に「ありがとう」が氾濫しています。ぜひ他の店舗の皆さんも、本社の集計担当者が困るというくらいにサンクスカードをたくさん書いて、効果を実感してください。

(米町再生酒場／有里明能)





# お雛様のプレゼント!



横浜市在住の大野紀久代様がウチヤマグループのホームページをご覧になり、さわやか俱楽部の介護施設に雛人形を寄贈したいと連絡をくださいました。送られてきたのは、とても大きくて立派な七段飾りで、入居者様も「きれいだね」「懐かしいね」と大変喜ばれています。四十年以上前から飾られていた、思いのこもった雛人形とのことで、さわやかみなと館で大切に飾っていきたいと思います。本当にありがとうございます。

(さわやかみなと館／施設長・仲野大吾)

## 素敵なお報の中から大発表!

### BEST! 日報賞 ベスト



ふっくら 下通店

熊本県熊本市

たまりむら よし のり  
料理長 溜村 佳憲さん

本日はご予約が少なく、大変厳しい営業が予測されました。三好料理長が来て下さり、作戦を練って外配チラシを作りました。見事に集客出来て予算に届きました。なんでもやってみることが一番大事だと感じました。意外とやろうと思っても行動に起こさないことは多々あるので、「やる」という大事さを一番学びました。やはりふっくら中央通り店を守ってきただけの人であり、自分に欠けている部分をたくさん学ばせて頂きました。これからも継続します。本日は本当にありがとうございました。清掃の指導もありがとうございます。基本に返り頑張って参ります。



さわやか  
日の出館

新潟県新潟市

看護師 石田 昭子さん

葉が人の気持ちを大きく動かすものだと感じました。介護は人が相手ですので、自分の発した言葉に責任をもっていかなければなりません。



みんなの日報  
紹介します!



お母さんなんて言うのは、何年振りの事やろうかね。普段は、ばあさんとかあんたとか言ってごめんね。なんか照れ臭くてね。このお誕生会での作文を発表して下さいとお話を頂いたのは、1月30日の事でした。1月30日といえば、なくなつた親父の誕生日、そして今日、2月16日は、私の49回目の誕生日です。何かのめぐり合わせなのか、何かの縁なのか、わかりませんが、たまたまが重なったようです。

子供の頃は体が弱く、毎月のように熱を出したり、ガケから落ちて入院はするは、足の骨は折るは、手の骨も折るはで迷惑ばかり掛けました。大人になって三人の子供にも恵まれ、順風満帆かと思われましたが、バブルの崩壊で敢え無く撃沈。離婚して三人の子供達を引き取った時に、「あんたがしっかりせな、子供達がかわいそうやろ」と言われた時は、かなりこたえましたよ。こんな私でも、学生時代はプラスバンドやバンド活動、鹿児島や長崎への自転車での一人旅をさせてくれたり、専門学校まで卒業させて頂きました。約三年前に再婚し子供が五人になりましたが、子供達より「再婚は賛成。でも皆での同居はいや」との意見で今だに別々の生活をしていますが、これも自分の運命かなと思っています。これまで経験させてもらった事が、子供達へも伝わっているし、何よりも自分自身のパワーとなっています。小さい時から、こんな年になった今でも、心配や心労ばかり掛けてごめんなさい。

振り返ってみるとこれまで親孝行なんて何一つしてないよね。

産んでくれて  
育ててくれて  
ありがとう!

2月の誕生日会より



↑誕生日会に出席した木下さんとお母様

あえて言うなら、子供は産まれてきた時に一生分の親孝行をしてるって言うから私が産まれ来た事が一つめ、二つ目は孫の顔を見せてあげられた事。三つ目が今日かな。今は二月で寒い季節やけ、温かくなつたら、温泉にでも行って美味しい物食べようね。「そんな事言つても、また空手形やろ」って思うやうけど、これだけ多くの仲間の前で発表したけ必ず実現するよ。私生活の面では、心配で心配でしようがないやうけど、困難は乗り越えられる者にしか与えられないって思ってるから、そんなに心配しないでね。生活の基盤となる仕事は、さわやか俱楽部でたくさんの仲間に支えられて楽しくやってるから、安心して下さいね。

最後に一つお願ひがあります。お母さんにはいつまでも元気で長生きして欲しいけど、旅立つ時は、是非、私よりも先に逝って下さいね。その時が来るまでずっと私が見守って、きちんとお見送りをする事が私の最後の親孝行だと思っているからね。愛するお母さんへ、産んでくれてありがとう。

(さわやか直方館／木下和臣)

## マグロの解体ショー!!

さわやか枚方館では念願の「マグロの解体ショー」を行いました。大きなマグロの登場から、見事な解体捌きに見学されていた皆様はとても驚き感心されていました。解体し、舟盛りにしたマグロをその場で試食もして頂き、皆様「美味しい！美味しい！」と大変喜ばれています。(徳田 章光)



## 皆で楽しみました！

北九州市小倉のアサノパティオにて『さわやか俱楽部の誕生日会・新入社員歓迎会』が行なわれました。100歳の篠田様といづみ館の職員・職員の子ども・孫と総勢17名で参加させて頂きました。篠田様は、大好きなお酒とおいしい食事を楽しみ、内山社長からは温かいお言葉ときれいなお花を頂きました。

挨拶では、大勢の前でお話することに、少し緊張されておられましたが…さすが篠田様冗談を交えつつ立派に自己紹介やお礼の言葉を述べられました。職員の出し物もあり、アセロラ体操＆ずんどこ節を皆で踊りました。皆様からの手拍子や一緒に踊って頂いている様子にみんなの緊張もとけ、楽しんで踊ることができました。篠田様もこの日まで、一生懸命練習してこられた『おてもやん』を職員と一緒に披露されました。事前に篠田様からのメイクのアドバイスもあり、素敵なお顔に100歳とは思えない歌声で会場を魅了して下さいました。

長時間の車の移動で職員も心配しましたが、次の朝、いつもとお変わりなく元気に起きてごられました。篠田様も「とっても楽しかった、食事もお酒も美味しかったし、内山社長をはじめ、皆様によくして頂いて、本当に嬉しかった」とお話しをおられました。子ども達も、内山社長からプレゼントを頂き、大勢の前で踊ったことが嬉しかったようで「今度はいついくの？」と話しているようです。内山社長をはじめ、皆様、本当にありがとうございました。(戸野 蓉子)

さわやか  
いづみ館  
福岡県朝倉市



各施設からのお便りを集めました！

## さわやかだより



さわやか  
ひがしかぐらかん  
東神楽館  
北海道上川郡

## 吹奏楽部演奏会

東神楽中学校吹奏楽部の学生さんが来館し、演奏会を開いてくれました。朝から多くの入居者様が1階ホールに集まってくれたり、約60名の入居者様が迫力ある演奏を楽しんでいました。『川の流れのように』など5曲を演奏して頂き、アンコールで昔懐かしい『ふるさと』を演奏してくれました。来館してくれた東神楽中学校吹奏楽部の皆さん、素敵な演奏を聴かせて頂きありがとうございます。ぜひ、また入居者様との交流を深めていきたいと思います。(清野 智美)



さわやか  
ひの出館  
新潟県新潟市

## 新潟大学ボランティア来館！

3月3日ひな祭り会に新潟大学ボランティアの皆様が、来館されました。入居者様、大満足・大興奮です。ありがとうございます。本格的な音楽演奏に思わず時間を忘れていました。皆様、美しい音楽に聞き入り笑顔も増えました。終了後も音楽の話で盛がっていました。素晴らしい思い出を、新大の皆様ありがとうございます。目・耳から入る刺激に認知症の予防があります。話題となり、会話が活性化されます。地域との結びつきに今後も、力を入れて行きます。ボランティアの皆様ありがとうございます。(安達 裕太)





さわやか  
ほんじょうかん  
**本城館**  
福岡県北九州市

## 一日施設長!!

本日、1日施設長に松田様が任命されました。朝礼時の辞令が交付され、「何も分かりませんが宜しくお願いします」と挨拶されていました。その後、フロアをラウンドしていると富山様から「久しぶりやね、元気しどう?」と入居者さまからも声をかけられ、人気者の施設長でした。

その後はデスクワークをして頂き、書類に目を通し、印鑑を押して頂いたりコメントを書いて頂きました。「皆の思いや考えがしっかり書かれとうね」と書類を見ながら言わっていました。「また1日施設長してみたいね」とコメントを頂いたので、是非またお願いします。(堤 雄亮)



## ひなまつり記念撮影!

3月3日は桃の節句「ひなまつり」…ということで、せっかくなので、皆様おひとりずつ記念撮影を行いました。

まずは男性の方々から記念撮影です。その間、女性の方々はというと…メイクアップ中でした。皆様、さらにお美しくなられ、記念撮影です。何名か少し照れられている方もいらっしゃいました。今回、お内裏様は「江口」。お雛様は「神吉」が担当させていただきました。(江口 丈徳)



グループホーム  
**たいよう**  
福岡県北九州市

## 外食レク inコロッケ倶楽部小倉東インター店♪

皆様と一緒にコロッケ倶楽部・小倉東インター店へ行って参りました。メニューからお好きな物を選んでいただき、ハンバーグやカレイのから揚げなど美味しいそうに召し上がられていました。食後は、カラオケで大盛り上がり。青い山脈や、ふるさとを熱唱。最後は、みんなで記念撮影。とても楽しい時間を過ごしました。

(管原 和枝)



さわやか  
レークサイド  
なかはる  
**中の原**  
福岡県北九州市

## 春を感じる♪天ぷらレク

レークサイド中の原の敷地には、自然のふき畑があります。晴れた日に沢山摘み取り、ご入居者様にフキノトウの天ぷらを召し上がって頂く企画をたてました。採れた量は、写真の5倍はありました。公休で手伝ってくれた頼りがいあるスタッフは「高級食材には高級塩でしょ」と梅塩、抹茶塩、カレー塩を自宅から持参で来てくれました。2階スタッフ&ケアマネの女性4人で、天ぷら作りに奮闘中。キッチン前には出来上がりを待つて下さっているご入居様が集まって下さいました。

「熱いうちに食べたいわ」「春の香りがするわね」と大好評。「ほ~、こりゃウまい」「珍しいもん天ぷらにしたなあ」「何個でも食べたいわ」フキノトウの天ぷらって、ほろ苦くて春の香りがして本当に美味しいのですね。ご入居者に季節を感じて頂けて本当に良かったです。皆様と「またやりましょう」と話していると「タラの芽も食べたい」と言われました。それは…山に採りに行くしかないです。でも、3月からはご入居者様の畠作りを開始しますので、採りたての野菜で美味しい物作ります。(小林 さおり)



# 3月の ハートピア明礬

3月より「春プラン」をご準備致しました。朝晩はまだ冷え込みますが、木々は新しい芽を出し始めています。当ホテルの料理人が、お客様に喜んでいただけることだけを考え、春らしいメニューをご用意いたしました。

外湯の白濁した硫黄泉は、森の中に建物があり、木々の緑に囲まれながらお湯につかれば身も心もリフレッシュいただけます。また館内には、美肌の湯といわれる「炭酸水素塩泉」もあり、角質を硫黄泉で落として保湿するとお肌にとてもよく、女性の方へは特におすすめです。明礬温泉の中でも2種類の異なった温泉があるのはハートピアだけで、多くのご宿泊予約と日帰りのお客様に喜ばれています。

3月は別府温泉祭りが開催され、3/30～4/3はいろいろなイベントが別府各地で行われます。3/31には火祭りも予定されており、扇山（おおぎやま）の山焼きが行われます。別府温泉に来た際は、ぜひ別府八湯の一つ、明礬温泉の「さわやかハートピア明礬」へお越し下さい。（川田 務）



大分県別府市大字鶴見1190番地の1 ご予約・お問い合わせはお気軽に  
ホームページ [www.sawayaka-hotel.jp](http://www.sawayaka-hotel.jp) 0977-66-1321



ホテル「さわやか別府の里」は全館、

## バリアフリー!!

館内はバリアフリーとなっております  
車椅子利用可能  
貸出無料  
当社ヘルバーステーションにより介護を受けれます。

当ホテルには、さまざまな特徴がございます。その中の一つは、館内全てがバリアフリーということです。フロアだけでなく、客室や大浴場など細部にわたり徹底されています。一昨年の10月に新規オープンし、最初の設計段階からバリアフリーのホテルは全国的に珍しく、今まででは体が不自由なことが理由で旅行を諦められていた方や、療養で来られる方にご好評頂いております。設備はもちろんのこと、有料老人ホーム併設に伴い万が一の場合に備え、看護師や介護職を配置しておりますので安心してご利用いただくことができます。

ますます暖かくなり、別府のイベントや見頃を迎えるお花見の後に、当ホテル自慢の温泉や料理を楽しむてはいかがでしょうか？ご予約にあたり、ご不明な点やご質問がございましたら何なりとお申し付け下さい。皆様のご利用を心よりお待ちしております。（坂本 亮介）



ほりた 別府堀田温泉 ベっぷ さと  
**さわやか別府の里**

大分県別府市堀田4-2(堀田温泉) お問い合わせはお気軽にどうぞ！  
ホームページ [www.sawayaka-hotel.jp](http://www.sawayaka-hotel.jp) 0977-26-1117

## ソフトバンクニュース

### iPad3新発売!!

いよいよiPad3が発売となりました！現在、店頭では絶賛ご予約承り中です。TVCMの影響からか、来店いただくお客様から『iPadってゲームをするものなんですよ？』とのお声をよく耳にします。もしかして皆様もそう思っていらっしゃいますか？

私たちショップスタッフは、ソフトバンクからの指示事項をすべてiPadで受け取ります。資格試験を受ける勉強や、定期的にある研修もiPadで課題を提出します。

お客様へお見せするカタログや料金、プランのシミュレーションもiPadで表示します。お客様から提示いただく個人情報はすべてiPadの画面上に写し、接客が終わるとお客様自身に消去していただくので、セキュリティ対策も万全です。もちろん、楽しいアプリもたくさんありますが、仕事上でも沢山の書類に埋もれることがなくなり、スケジュール管理もできて大切なパートナーです。店頭にはデモ機もご用意しておりますので、お気軽にご来店・ご相談ください。スタッフ一同心よりお待ちしております。（坂本 由希江）



**SoftBank**

ソフトバンク香春口店

福岡県北九州市小倉北区  
江南町3-1 内山第27ビル1F

お気軽にお電話ください

Tel.093-951-3266

【営業時間】10:00～19:00

## ディナーショー

ASANO PATIO EVENT

デザート・フルーツも  
食べ放題！！

### アサノパティオディナーショー



2010年10月結成。個々がソリストとしても十分な実力を持つグループ「ラッキー・ヒル・ゴスペルグループ」ジャズヴォーカリストやクラシックシンガーなどが入り交じり多彩な音色を奏でます。博多で生まれた底抜けに明るく元気な彼女たちのステージをお楽しみ下さい。

**2012.4.19木**

1st stage. 開場 17:45(dinner)  
演奏 18:30～19:30

2nd stage. 開場 19:50(dinner)  
演奏 20:30～21:30

【メンバー紹介】

菅原花月（ボーカル）、平戸いつこ（ボーカル）、轟かおり（ボーカル）、木村暢子（ピアノ）、SAKURA（ドラム）

【バイキング形式 6,000円】  
お一人様

【ディナー・ドリンク・ショー・税金・サービス料金込】  
・3drink（ビール・ワイン・ソフトドリンク）付き

\*ご購入されたチケットの時間のみの受付とさせて頂きます。

Beer Rest & Karaoke

ASANO

Patio

福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目3-28

※無料駐車場（アサノパティオ立体駐車場）をご利用ください。

お気軽にお問い合わせください

Tel.093-533-1888 Fax.093-533-7307

# Message From President

ウチヤマグループ代表／内山文治

## 「幸せ願望症」と「不幸願望症」

人生には、こんなに幸せが続いているだろ？かと思うほど好調な時があれば、もうダメだとすべてをあきらめて投げ出したくなるような。ピンチも何度か訪れます。本当に最悪と思えるような時でも、周囲の人の助けがあれば、立ち直る事ができます。そしてその時に、自分一人では何もできないこと、いつも周りの人々に支えられて生きていることを悟り、自然と感謝の気持ちがわいてきます。この感謝の気持ちとは、家族や仲間に対してだけでなく、神の存在に対する感謝の気持ちも含まれます。世の中で成功していると言われる人は、神様、あるいはサムシンググレーントと呼ばれる目に見えないものの存在を信じている人が多いように思います。

人生において心から幸せを感じ、感謝ができる人は、自分だけではなく周りにいる人々にも幸せになつてほしいと願っています。そういう人は、意識せずとも自然と「ギブ・アンド・ギブ」を実践しているので、周りの人も笑顔で楽しくなり、幸せになります。そうして笑顔の仲間に囲まれて幸福感を感じられる、ますます人に對して良いことをして喜んでもらいたいという気持ちになります。」の良い循環を私は「幸せ願望症」と呼んでいます。



私は毎日一枚以上サンクスカードを書くようにしています。感謝する相手は、社員に限らず取引先、訪問されたお客様など、思いついたらその時に書くようにしています。社員からサンクスカードを書いてもらうこともあります。本社の朝礼では、最初に各現場で交わされているサンクスカードの内容を紹介しています。さわやか俱楽部の介護施設においては、入居者様と職員の間でサンクスカードがやり取りされている事例が多く出てきます。サンクスカードが多く書かれている施設ほど、職員同士、そして入居者様とのコミュニケーションが良く、皆が仕事を楽しんで働いているようです。今丹羽のウチヤマタイムズでは、サンクスカードを活用して職場の活性化に積極的に取り組んでいる二つの事業所を紹介しています。ぜひ参考にして、今まで以上にサンクスカードを真剣に書いてみてください。「ギブ・アンド・ギブ」の実践の第一歩を踏み出してみてください。そして仕事をいつも前向きに楽しみ、人生を幸福なものに感じられる良い習慣を身につけてほしいと願っています。

逆に、上司に言わされたから、生活のために仕方ないからと嫌々仕事に向き合い、陰で愚痴や不満を他人に言っている人は、仕事の時間と引き換えに疲労感ばかり得るようになり、次第に仕事が苦痛になつてしまします。表情が暗くなり、言葉も消極的になると、やがて人も近寄らなくなり孤独

# 新入社員を迎えるにあたつて

早いもので三月を迎えました。三寒四温と言われる季節、さくらの季節私の毎朝の日課である散歩中には、とにかく春の息吹を感じることができる今日この頃です。

さて、三月といえば企業にとって一年の締めくくりでもある年度末を迎えます。そしてウチヤマグループにおいては新年度である四月から新たに約六十名の新入社員を迎えます。それぞの部門においては日々の仕事をこなしながら、新入社員を迎える準備に取り掛かっています。

ところで私は、これまで歩んできた人生の中でサラリーマンという経験が一度もありません。ですが、これから新たに社会人生活をスタートさせるフレッシュ的な新人の皆さんにとってはまさに人生の分岐点、つまりターニングポイントであり、入社式を控えた現在は希望に満ちた胸膨らむ日々を過ごしているのではないかと思います。そのことを考えれば、新たな仲間を迎える企業側として、非常に大きな責任と強い使命感を抱かずにはいられません。なぜなら私たちは、その関わり如何において、新たに六十名の仲間一人ひとりの人生を大きく左右するところにいるからです。

それぞれに持つ夢や希望、将来に対する期待や目標を掲げて入社する仲間には、一日も早く社会人生活に慣れてもらい、仕事を通じて世の中から必要とされ、社会に貢献できる人材へと成長してほしいと願っています。当然のことながら自分自身が進んで選択した道であり、かねてから希望していた職業だと思います。ぜひ楽しく仕事をしてもらいたいと思います。そして仕事を趣味として、一度きりの人生を存分に楽しむことができれば、この上ない喜びが実感でき、多くの感動を得られると思います。

とはいっても、輝かしい彼らの記念すべき新たな出発点です。社会人として先輩の立場にあたる私たちも今一度立ち止まり、この時期だからこそ自身を省みることも必要なのではないかと思います。これはすなわち基本に立ち返り、仕事に対する姿勢を改めるのできる絶好のチャンスだとも言えるのです。

まずは自らが社会人としてスタートを切ったときのことを思い出してみると良いのではないでしょうか。そういうことで新人がどのような気持ちを抱いてい

るのかが理解できると思います。会社とは何か?働くとは何か?…思い起せば、様々な不安や疑問を抱いていたはずです。学生のころにアルバイトをしていたときは「いいぶん」と違い、右も左もわからず、敬語をうまく使いこなせないまま日々の失敗を繰り返しながら先輩にはいつも叱られてばかりだった日々のことが鮮明に蘇ってくるのではないかと思います。見るもの聞くものすべてが新鮮でありながらも、色々な不安や葛藤と闘いながら少しずつ成長し、多くの失敗や経験を積み重ねてきたからこそ現在があるのであります。

また、特に先輩として四月から指導的立場に就く皆さんには、ぜひとも優しさや思いやりの心を持つて指導にあたつてほしいと願っています。

指導にあたる際の留意点として、まずは企業が掲げる基本理念に対する十分な理解と実践が大きなポイントを占めます。基本理念とは、組織がその根本に据える目標や思想のことです。基本理念が企業の中で社員にどう認識され価値観の一体化へと結びついているのか、また普段の業務にはどこまで生かされているのかという点があらゆる評価として問われてきます。そのためにも一人ひとりが基本理念を十分に理解した上で、具体的な行動として確実に実践してほしいと思います。

そして社会人としての心構えとしては、仕事に対する高い志を常に持つといつとも大切です。さらには、真摯さや謙虚さを身につけるとともに、まずは先輩社員である私たちが率先して新人の手本となるよう姿勢を正さなければなりません。

ところで、ウチヤマグループにおいては「新入トレーナー制度」を設け、数年来実践しています。マンツーマン形式で指導をするにあたつては、根気良く、気長に構える姿勢も大切です。また、「コミュニケーション能力を磨く」とも新人の育成においては重要なポイントとなります。新人トレーナー制度については、まだまだ十分に機能していないケースもあるようです。

指導する中では、時に新人が仕事をなかなか覚えられず失敗を繰り返すことなどを理由に、指導することと自体をあきらめ、ひいては新人を厳しく叱責するなどと対する姿勢を改めるのできる絶好のチャンスだとも言えるのです。

まずは自らが社会人としてスタートを切ったときのことを思い出してみると良いのではないでしょうか。そういうことで新人がどのような気持ちを抱いてい

りません。『叱るとは 愛情をそぐい』と 叱られるとは 愛情を受けること』といふ格言があるように、叱るという行為には「成長してもらいたい」という愛情が伴つてこそ相手に伝わるのです。

「現在の苦労は未来への財産」とも言われます。世の中で偉大なる成功を成し遂げた偉人さえ、例外なく數年あるいは十数年という長い長い苦難の時期を経験し、幾多の逆境を乗り越え、素晴らしい成功を収めているのです。かくいう私にも過去の苦い経験があつたからこそ現在があるのです。

ドイツ帝国初代宰相であるビスマルクは、次のような言葉を遺しています。

『賢者は他人の経験に学び、愚者は自分の経験に学ぶ』。

新人を指導し、教育することは、いわば自分自身の成長にもつながると言つても過言ではありません。教えながらも実は自分自身が教わっていることもあります。相手の成長を願い、指導することをきっかけとして自分自身もより一層成長できるのだと捉えながら新人と真剣に向き合つてほしいのです。その熱心な思いは必ずや相手に伝わると私は信じています。

今こそ私たちが、働く意義や意味、また、仕事とは何か、社会人とは何かということについて再認識すべき大切な時期ではないかと思います。新たに仲間入りする六十名の新人にも、また一方で、先輩としての指導者の立場に就く仲間に對しても、私は両者の成長を楽しみに期待しています。

いよいよ今月末、三月三十一日には平成二十四年度の入社式が行われます。皆で力を合わせ、素晴らしい仲間を最高の笑顔で迎えようではありませんか。そして彼らの成長とともに、ウチヤマグループが更なる飛躍を遂げ、それぞの人生の輝かしい一ページに、良き社会人人生としての思い出が記されることを心から願っています。

本格的な春の訪れを楽しみにしつつ、私自身も素晴らしい仲間との新たな出逢いに感謝し、さわやかな気持ちで迎え入れる心の準備にとりかかろうと思います。



## 今月のオススメ



■ **変われる人(鮎谷周史)**

ふなたにしゅうじ



■ リッツ・カールトン超一流サービスの教科書  
(レオナルド・インギレアリー&ミカ・ソロモン)

■ 老年に後悔しない10の備え(三浦朱門)

■ 母さんの「あおいくま」(コロッケ)



■ ナイチンゲール  
(長谷川敏彦 監修)

■ ピノキオ(ディズニーランド)

■ 宝島(世界文学全集)

# おたより紹介!

## ✉ さわやかいすみ館

さわやかいすみ館に父が入居して一年が過ぎました。昨年の今頃、入所早々にインフルエンザにかかり、皆様にたいへんご迷惑をかけました。認知症が少しずつ進んでいますが、日々落ち着いてきたようです。私は、週一回程度しか様子を見に行けませんが、リハビリノートを見るといろいろな活動や行事に参加している様子がうかがえ、とってもうれしくなります。みなさんが父の様子を書いて下さるリハビリノートの交換は、何げない私たちの悩みを心配して作って下さいました。とてもありがとうございます。ここに入れて父は幸せだと思っています。

(福岡県朝倉市・塚本様より)

## ✉ コロッケ倶楽部 宇美店

スタッフのまるやまさんは、入店してとても丁寧な口調で好感が持てました。いろいろサービスの説明もして下さり、帰りに「ありがとう」と伝えると「お気をつけてお帰り下さい」と言われました。とてもステキなスタッフさんでした。

(福岡県粕屋郡・山下様より)

## ✉ コロッケ倶楽部 下通店

先日、鹿児島より法事で熊本に来た際、子供を二人連れており、あまりの寒さにカラオケに入りました。4ヶ月の子供を抱いて受付をしたのですが、もりさんが「大変でしょう、寒かったでしょう」と大変気にかけて下さり、久しぶりにこんな親切な店員さんに出会いました。とても感動したので、2月には熊本に移住しますので、ママ会などで利用させていただきたいと思います。

(鹿児島県鹿児島市・高山様より)

## ✉ コロッケ倶楽部 都城店

食べて飲んでたくさん歌って料金ですので、一週間に一度くらいの割合で夫婦、兄弟、友達等と利用させてもらっています。また、誰に気がねすることもなく長時間歌の練習もできますのでとても気に入っています。スタッフの方の接客も気持ちが良いです。トイレにはいつも花が飾ってあり、気持ち良く利用させてもらっています。トイレが清潔にしてあるのが一番です。(宮崎県都城市・上園様より)

# 出産おめでとう!



えざき かずと  
江崎 一斗くん

平成23年12月27日生まれ



★かずとくんのママ

えざき ちあき  
さわやかこすもす館／江崎 千晶



# 今月のスター候補!



さわやか倶楽部の施設やボナーの飲食・カラオケ店舗の塗装を手掛けるベンキのプロ、(株)はやしの森永裕貴さんは、本紙の熱烈な愛読者として2007年10月号にも登場しました。その森永さんの愛娘、北九州市立高校に通う森永伊織さんが、3月23日から秋田県で行われる「第39回全国高等学校選抜卓球大会」に福岡県代表として出場することになりました! 地元の商店街には写真入りの大きな横断幕も掲げられ、テレビ局からの取材も受けたそうです。将来の日本の卓球界を担う有望選手が集まる大会で思いっきり活躍されることを願い、ウチヤマグループからも皆で声援を送りましょう!

## UCHIYAMA GROUP

### 第15回 特別講演会

申込  
受付中

今年の講師は、スポーツライターの乙武洋匡先生です。  
たくさんの方のご参加をお待ちしています。

#### 日 時

平成24年  
5月31日(木)／18時～19時30分(90分間)

#### 場 所

北九州市小倉北区  
リーガロイヤルホテル小倉 4階 ロイヤルホール

#### 講 師

スポーツライター

おとたけ ひろただ

乙武 洋匡 氏(35歳) オフィシャルサイト <http://sports.nifty.com/ototake/>

#### 参 加 料

お一人様 3,000円

#### お問い合わせ

ウチヤマホールディングスまでお気軽に電話ください。

093-531-0966

